

質問の件名及び質問の趣旨（質問時間）	答弁を求める者
<p>1 市長の政策に関する施策の検証（60分）</p> <p>本年2月に開催された四市議員合同研修会において、根拠に基づく政策立案（EBPM）と施策の事前検証について学びました。</p> <p>本市は第6次鶴ヶ島市総合計画（前期：令和2年度～令和6年度後期：令和7年度～令和11年度）の中で、市の将来像を「しあわせ共感 安心のまち つるがしま」とし、これを実現するために3つの重点戦略（1.子どもにやさしいまちづくり 2.いつまでも健康でいられるまちづくり 3.多様な働き方が実現できるまちづくり）を掲げています。令和2年度から始まった第6次総合計画も令和6年度で前期基本計画の期間が終了し、令和7年度からは後期の取組となるため、令和6年度中に後期基本計画が策定される予定です。</p> <p>さて、前期基本計画は順調な成果を生んでいるのでしょうか。そもそも、前期基本計画において想定した成果とは何であったのでしょうか。そして、後期基本計画は、「しあわせ共感 安心のまち つるがしま」を実現することになるのでしょうか。根拠に基づく政策立案と施策の事前検証の考えに基づき以下の質問をします。</p> <p>(1) 「(仮称) つるの駅構想」の現状、目標、位置づけ</p> <p>(2) 「(仮称) Nゲージとガーデンパーク」の現状、目標、位置づけ</p> <p>(3) 鶴ヶ島駅周辺地区まちづくり整備計画の目標と位置づけ</p> <p>(4) 前期基本計画の進捗状況と成果</p> <p>(5) 後期基本計画の基本方針と重要施策</p>	市長